

本門佛立宗

本門佛立宗(本山 宥清寺：京都市上京区)は門祖 550 回御遠諱の記念事業として、宗務本庁が入る佛立会館を 5 月に新築し、耐震と省エネの対策を施しました。

グリーンエネルギーを利用するため会館屋上に太陽光発電機を設置し、地下には夜間電力を用いた氷蓄熱機を設置しました。

空調は省エネ機器を導入し、扇風機を併用して、室温は温度計による目測で 28℃に押さえるように配慮し、南側の窓には熱を遮るフィルムを張っています。

照明は LED 機器を採用し、館内の共用部分(廊下・階段・倉庫・トイレ)に人感センサーを多用して節電を行っています。

また、事務職員の服装はクールビズを励行し、昼休みには消灯を実施してOA機器は省エネモード設定で使用しています。

敷地内にはグリーンカーテンの効果をねらって笹の苗を植樹し、他にも「すだれ」等を置くなどして工夫を重ねる予定です。

これからも年間を通して無駄な電力を使わないように努力し、環境に配慮して省エネを実施してまいります。

